

現在実施している調査業務の内容

	現状	改修案
外壁改修	劣化調査にて詳細確認	全面改修(断熱補強含む)
		一部補修（H16改修未実施部のみ）
屋上防水改修	劣化調査にて詳細確認	全面改修(断熱補強含む)
		部分補修・トップコート塗布
室内仕上改修	劣化調査にて詳細確認	床：ビニルタイル等、床材劣化部張替え、ひび割れ補修 OA室：床免震設置
	劣化調査にて詳細確認	壁：ビニルクロス等、壁材劣化部貼替え（幅木貼替含む）、コンクリートブロック壁撤去
	・劣化調査にて詳細確認 ・天井下地は木下地	天井案①：木下地→軽量鉄骨下地へ変更（天井材の貼替）、天井落下防止策としてLGS耐震クリップで下地補強、天井と壁にクリアランス(隙間)
		天井案②：木下地→軽量鉄骨下地へ変更（天井材の貼替）
		天井案③：天井レス化
受変電設備改修	既設受変電設備はPH階の「電気室・水槽室」に設置。室内「開放形受変電設備」であり、母線、配電盤、がいし、変圧器などをフレームパイプで組み込む形で充電部が露出されている。	キュービクル式（閉鎖形）受変電設備へ改修
配管設備改修	劣化調査にて詳細確認	各配管改修
暖房用蒸気ボイラー改修	2008年10月設置（15年経過）の蒸気ボイラーが暖房設備熱源として運用されており、温水を全館に供給している。	電気式ヒートポンプエアコンに更新する。室外機は屋外に設置する。
エレベーター設置	エレベーターなし。	屋内エレベーター設置する。
トイレ改修	男女ともほとんどが和式便器となっている。 また、身障者等が使用できるトイレはない。	衛生器具交換+パウダールームや授乳室、多目的トイレ、手すり、おむつ交換台の新設 バリアフリースイレの新設（車イス対応）
冷房用空調設備改修	冷房はサーバー室のみ。一部の部屋で、スポットクーラーを設置している。	冷房用の空調機、全熱交換器を設置する。
空調換気設備改修	・換気は排気ファンのみあり、第三種換気となっているため、粉じんなどが室内に流入しやすい。 ・冬季は窓を閉め切るため、換気量が不足している恐れがある。（気密性が低い窓サッシの為、隙間風が大きい可能性大）またこれにより、エントランスからの外気吹込みが強くなっている恐れがある。	空調機を設置する。議場にはパッケージ型のエアハンドリングユニットを設置し、空調を行う。